

兵庫・衾布ヶ森遺跡

によろがもり

- 1 所在地 兵庫県城崎郡日高町衾布
- 2 調査期間 一九八六年(昭61)六月～九月
- 3 発掘機関 日高町教育委員会
- 4 調査担当者 加賀見省一
- 5 遺跡の種類 官衙跡
- 6 遺跡の年代 古墳時代～平安時代
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

衾布ヶ森遺跡は、但馬国分寺の西南約五〇〇mの段丘上に位置する官衙的性格をもつ遺跡である。県立繭検定所跡地に町立文化体育



(出 石)

館を建設することになり、日高町教育委員会が事前に発掘調査を行った。調査の結果、西方から続く段丘が調査区の西端付近で終わり、小さな段丘崖を形成している。これより東方にかけては、旧流路による氾濫原になる。氾濫原は、

用地の東方へさらに続き、調査で確認できた幅は四〇mを越える。遺物は、古い段階の流路の堆積土に含まれ、上層からは九世紀中頃から後半の土器・漆紙文書などが出土し、下層からは九世紀初頃の人形など木製模造品が出土している。木簡は、これらの木製模造品と共に出土しており、同時期のものと考えられる。なお、遺構は検出できなかった。

8 木簡の积文・内容

- (1) ×(符籙) 急々如律令

東□

(208)×(24)×5 081

(加賀見省一)